

機密法令等級

ペナン分送

1174

海法第五九號

昭和十七年四月二十日

海軍省法務局長

佐世保鎮守府法務長殿

法律ノ解釋ニ関スル件回答

刑法第六條ハ行為時法ト判時法ト其ノ刑ヲ異ニスル
 場合其ノ何レヲ適用スベキカニ付犯人ノ利益ノ爲ニ
 設ケラレタ規定トシテ同條ニ所謂「犯罪後ノ法律ニ因リ
 刑ノ變更アリタルトキトハ犯罪後新法ノ制定ニ伴ヒ行
 爲時法タル舊法全面的ニ廢止セラレ兩者其ノ刑ヲ異
 ニスル場合ノミナラズ一般法ニ規定スル罪ニ付新ニ一定
 ノ條件ノ下ニ刑ヲ加重又ハ輕減スベキ特別法制定セラ

(旅本附)

1175

其、特別法、效力存スル限度ニ於テ舊法ヲル
一般法、效力テキ場合ヲモ包含スルモノト解スベク從
テ一般法尤刑法、住居侵入罪ト戰時刑事特別
法、住居侵入罪ト、關係ニ於テモ刑法第2條ヲ
適用、上新舊法ヲ比照シ其、輕キニ從フベキモノト
思料致候

終

ナレハ
中

受第遺艦法ハハ機密ヲ弄七八等

第十方面艦隊機密第二一號ノ三

昭和二十年四月一日

第十方面艦隊參謀長

20. 4. 13
接

代
情
官

第十方面艦隊附屬各所轄長殿

防諜上有害言動者處分標準ノ件申進

首題ノ件別紙ノ通定×ラレ候ニ付爾今一層防諜觀念
徹底圖リ以テ防諜上萬遺憾ナキヲ期セラレ度

終

第十方面艦隊機密第三號ノ三別紙

防諜上有害言動者處分標準

機密漏洩	違	程 度	處 分 標 準	甲	乙	丙	丁
	機密程度高キモノ (軍機軍極秘)			機密程度稍高キモノ (極秘)	機密程度低キモノ (秘)	注意ヲ與ル程 度ノモノ	
造言蜚語	極クテ惡質ノモノ	惡所具ノモノ	稍惡質ノモノ	注意ヲ與ル程 度ノモノ	初 回	上陸止三回以上	初 回
	事件ヲ軍法會議ニ送致ス	懲 罰		初 回	上陸止三回以上	又上陸止五回以上 懲罰	初 回
		懲 罰		初 回	上陸止三回以上	懲 罰	初 回
		懲 罰		初 回	上陸止三回以上	懲 罰	初 回
		懲 罰		初 回	上陸止三回以上	懲 罰	初 回

(秘)

極秘

機密第十方面艦隊法令第八號

昭和二十年五月一日

昭南海軍本部

第十方面艦隊司令長官 福留

祭

第十方面艦隊軍訓令別紙ノ通告是也

附令

昭和二十年機密第十方面艦隊法令第六號
之ヲ廢止ス

三島...

(終)

機密第十方面艦隊法令第八號別紙

第十方面艦隊軍罰令

第一条 本令ハ帝國海軍ノ占領地ニ在ル者ニ之ヲ適

用ス

第二条 左ニ記載シタル行為ヲ爲シタル者ハ軍罰ニ

處ス

一 帝國國軍ニ對スル抗敵行為

二 間諜其他帝國國軍ノ安寧ヲ害シ又ハ軍

事行動ヲ妨害スル行為

三 前二號ニ掲ケタル外占領地ノ治安ヲ紊リ又ハ

帝國ノ利益ヲ害スル行為

前項ニ掲ケタル行為ノ教唆封中助豫備陰謀

又ハ未遂ハ之ヲ罰ス

第三条 軍罰ヲ分テ死、監禁、過料及沒取トス

第四条 死ハ銃殺ス但シ必要ニ依リ他ノ方法ニ依

ルコトヲ得

第五条 監禁ハ一月以上トシ監禁場其他相當

官署ニ拘置ス

第六条 過料ハ一圓以上トス

過料ヲ完納スルコト能ハサル者ハ一日以上五年以

下ノ期間監禁場其他相當官署ニ留置ス

第七条 犯行ノ用ニ使ハレ又ハ犯行ニ因リ得ル物

其ノ他犯行ニ關係アル物ハ之ヲ沒取スルコトヲ得

附 則
本令ハ昭和二十年五月一日ヨリ之ヲ施行ス
本令ハ本令施行前ノ施行ニ付亦之ヲ適用ス

機密第十方面艦隊法令第九號

昭和二十年五月一日

昭南海軍本部

第十方面艦隊司令長官 福留

繁

第十方面艦隊軍罰處分令別紙、通定

(終)

第十方面艦隊司令部

軍艦

秘密第十方面艦隊法令第九號

昭和三十年五月一日

昭南海軍本部

第十方面艦隊司令長官 福留 繁

第十方面艦隊軍罰處分令別紙，通定

(印)

機密第十方面艦隊法令第九號別紙

第十方面艦隊軍罰處分令

第一條 第十方面艦隊麾下、各艦隊司令長官ハ軍罰處分會議ヲ設クルコトヲ得

第十方面艦隊司令長官ニ直隸スル各根據地隊司令官ハ長官ノ認許ヲ經テ軍罰處分會議ヲ設クルコトヲ得

第二條 軍罰處分會議ハ第十方面艦隊司令長官ノ定ムル軍罰令ニ觸ルル行為ヲ為シタル者ヲ審判ス

第三條 軍罰處分會議ハ之ヲ設ケタル各艦隊司令長官ヲ以テ長官トス

第一條第二項、軍罰處分會議ハ之ヲ設ケタル根據地隊司令官ヲ以テ長官トス

前二項ノ長官ハ軍罰處分會議遠隔ノ地ニ在ルトキ
他必要アルトキハ軍罰處分會議所在地ヲ管轄スル
軍指揮官ヲシテ長官ニ代リ其ノ職務ヲ行ハシムルコトヲ得
第四條 軍罰處分會議ニ審判官檢察官録事警本
通事ヲ置ク

審判官ハ將校之ハ將校相當官ヲ以テ之ニ充シ
檢察官ハ精務科士官ヲ以テ之ニ充シ

審判官及檢察官ハ長官之ヲ命ズ

第五條 審判ハ審判官三人ヲ以テ構成シタル會議ニ於テ之
ヲ爲ス

上席審判官ヲ審判長トシ將校タルヲ要ス

第六條 軍罰ノ執行ハ檢察官指揮ニ依ル軍罰ヲ執行
スルハ昔ハ長官之ヲ命ズ

第七條 監禁罰ハ相當官署ニ其ノ執行ヲ委嘱スルコトヲ得
本令ニ別段ノ定メナキ事項ハ事情ノ許ス限リ海
軍軍法會議法ニ準據ス

附 則

本令ハ昭和二十年五月一日ヨリ之ヲ施行ス
本令施行前南西方面艦隊審判規則ノ規定ニ依リ爲
タル審判手續ハ本令施行後ト雖モ仍其ノ效力ヲ有ス
南西方面艦隊軍律審判規則ニ依ル軍律會議ハ之ヲ本
令ニ依リ設ケタル軍罰處分會議ト看做ス

極秘

機密第十方面艦隊法令第六號

昭和二十年五月一日 昭南海軍本部

第十方面艦隊司令長官 福留 繁

第十方面艦隊軍訓減免令別紙通定

(終)

機密第十方面艦隊法令第一〇號別紙

第十方面艦隊軍罰減免令

第一條 第十方面艦隊麾下各艦隊又各根據地隊軍
罰處分會議ニ於テ言渡シタル軍罰、減輕又其執
行、免除、本令ニ依ル

第二條 死、無期又十五年以上ノ監禁トス

第三條 無期監禁、十年以上十五年以下ノ監禁トス

第四條 有期監禁、其五分一乃至三分一ヲ減ス

第五條 三年以下ノ監禁ニ處セラレタル者ニシテ犯情憫諒スヘキ

又ハ犯後改悛ノ情顯著ナル者ハ其罰ノ執行ヲ免除ス
ルコトヲ得

第六條 四罰言渡ヲ爲シタル軍罰處分會議ノ檢察官ハ犯

情又犯後ノ狀況ヲ斟酌シテ四罰ノ減輕又執行ノ免除ヲ受

クル者、範圍又四罰、減輕ノ程度ヲ定メ當該軍四罰處分
會議長官ノ認許ヲ受クヘシ

第七條 前條ノ認許アリタルトキハ四罰ノ言渡ヲ爲シタル軍

罰處分會議ノ檢察官ハ變更セラレタル罰目及四罰期
並ニ四罰ノ執行ノ免除アリタルトキ、其旨ヲ審判書原本ニ
記載シ且現ニ執行ヲ担當中ノ又ハ執行ヲ担當スヘキ
相當機關長又本人ニ之ヲ通達スヘシ

第八條 軍罰減免ヲ行ヒタル軍四罰處分會議ノ長官
減免實施ノ狀況ヲ第十方面艦隊司令長官ニ報告
スヘシ

(終)

極秘

機密第十方面艦隊法令第一號

昭和二十年五月一日 昭南海軍本部

第十方面艦隊司令長官 福留 繁

第十方面艦隊敵航空機搭乗員戰時重罪處罰令
別紙通定

終

機密第十方面艦隊法令第二號別紙

第十方面艦隊敵航空機搭乗員戰時重罪處罰令

第一條 本令、帝國若ハ滿洲國ノ領土又ハ我々作戰地域ヲ

空襲シ麾下艦船部隊ノ權内ニ入リタル敵航空機搭乗

員ニ之ヲ適用ス

第二條 左ニ記載シタル行為ヲ為シタル者ハ軍罰ニ處ス

一 普通火民ヲ威嚇シ又ハ非戦闘員ヲ殺傷スルコトヲ目

的トスル爆撃、射撃又ハ其他ノ攻撃行為

ニ軍事的性質ヲ有セサル私有財産ヲ破壊シ又毀損

スルコトヲ目的トスル爆撃、射撃又ハ其他ノ攻撃行為

為

三 已ムを得サル場合ヲ除ク外軍事的目標以外ノ目標ニ

對シテ為ス爆撃、射撃又ハ其他ノ攻撃行為

四前三號、外戦時國際法規違反ノ行爲

第三條 軍四罰ハ死トス但シ情狀ニ依リ監禁亦ヲ以テ之代

フルコトヲ得

第四條 死 銃殺トス

監禁亦一月以上トシ別ニ定ムル場所ニ拘置シ定役ニ

服ス

第五條 特別ノ必要アルトキ軍四罰ノ執行ヲ免除ス

第六條 監禁ニ付テ本令ニ定ムルモノ外刑法ノ懲役ニ関

ス規程ヲ準用ス

附則

本令施行前ノ行爲ニ付テモ之ヲ適用ス

(終)